

熊本大学情報融合学環における半導体企業と連携した エッジ AI を使った演習科目の開講について

平素より本学の教育・研究に対してご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和6年度に創設した情報融合学環では、初年度より地元企業様、自治体様等のご協力を得て、企業等と連携した PBL 科目:課題解決型学習(Problem Based Learning)を開講して参りました。

この度、以下の日程で、2年次科目として、半導体企業様が開発されたエッジ AI を使った PBL 演習科目を開講いたします。実際に機器開発をされた企業様から講義をいただき、最先端の技術を駆使し、課題解決に挑む学生の姿や、情報融合学環長、担当教員から半導体・デジタル人材育成に向けた今回の講義の狙い等を説明させていただきますので、当日の取材方、よろしく願いいたします。なお、当該科目は、新設した D-Square で本格的に実施する、初めての科目の1つとなります。

*情報融合学環は、文理融合、実践的教育、学内連携、地域連携、大学間連携で学ぶ「学部等関係課程」であることがその特徴です。データサイエンス(DS)総合コース、DS 半導体コースを設け、DX(デジタルトランスフォーメーション)、数理・DS の素養を身に付け、DX 課題に対応することのできる人材を育成していきます。

記

1 日 時: 令和7年10月21日(火) 8時40分～11時55分(1, 2限目)

2 場 所: 熊本大学黒髪南キャンパス D-Square3階 演習室
※詳細な場所については、別添資料参照

3 主な取材対象: 講義を受ける学生の様子
学生へのインタビュー
情報融合学環長からの説明
講義担当教員からの説明

*半導体企業様が講義をする様子なども撮影いただけますが、企業様側から、企業様への当日の直接の取材、具体的な企業名、商品名等の記事等への反映をお控えいただくように依頼されておりますのでご了承ください。

【お問い合わせ先】
熊本大学自然科学系事務課
情報融合学環教務担当
担当:端羽(はしば)
ダイヤルイン:096-342-2257

情報融合学環における半導体企業と連携した
エッジAIを使った演習科目の開講

日付：10月21日（火）

時間：8：40～11：55

場所：D-Square 3階 演習室

CAMPUS MAP

南地区



1 工学部研究資料館



旧制熊本高等工業学校の機械実験工場として、1908(明治41)年に完成。1970(昭和45)年に新工場ができるまで実験工場として使用された。赤煉瓦の工場及び機械群は重文。また、日本機械学会の機械遺産の認定も受けている。

2 工学部百周年記念館



工学部創立100周年を記念して、工学部同窓生、工学部関係者、企業からの寄附により2004(平成16)年に完成。学内外の講演会や演奏会などに活用されている。

7 TKU×マイステア カフェテリア(FORICO)

「理学部工学部のため」という愛称は学生公募。カフェ&レストランは平日11:00～19:00。ショップ&ベーカリーは平日10:00～19:00。

8 くまもと水循環・減災研究教育センター

複合学問領域からなる研究・教育機能を備え、分野横断型研究の拡充と深化、社会貢献、社会実装を見据えた研究・教育の展開を目指している。

9 埋蔵文化財調査センター

遺跡内にある各キャンパスの建物・設備更新に伴い発掘調査を実施している。縄文時代～近代までの調査成果・出土品を展示、授業にも活用されている。

11 D-Square



DXや半導体に関する教育拠点。学部生及び大学院生がデータサイエンスやAI、半導体関連の研究者とともに様々な共同研究に参画することで、高度な人材を育成することを目的としている。

4 先進マグネシウム国際研究センター

世界トップクラスのマグネシウム合金専用の最新鋭製造・加工設備や分析機器が整備されており、KUMADA/マグネシウム合金をはじめとする先進マグネシウム合金について基礎と応用の両面から研究している。

6 産業ナノマテリアル研究所

国内で初めての二次元ナノマテリアルに特化した研究所として2020(令和2)年4月1日に発足。基礎研究だけでなく産業イノベーションを起こす成果の創出に取り組んでいる。

10 SOIL



オープンラボとして主に企業等との半導体に関連する共同研究を推進するための施設として、次世代の最先端研究から実装研究までの様々な共同研究を展開し、半導体実装研究拠点として充実させ研究力の向上を図ることを目的としている。

8 くまもと水循環・減災研究教育センター

7 TKU×マイステア カフェテリア(FORICO)

3 研究開発戦略本部

全学の研究サポート・マネジメント体制の一元化を目的として設置。本学の研究力を高めるとともに、地域の課題解決に貢献することを目指し活動している。

5 国際先端科学技術研究拠点施設

本施設において、KUMADA/マグネシウム合金に代表される新構造部材開発や新機能性材料創製など、先進マグネシウム国際研究センターを中心とする世界最先端の材料開発に向けて、海外の大学・研究機関の研究者を交えた国際共同研究がその実働に入り、本学を核とした国際共同研究ネットワーク形成に大きく資することになる。2014(平成26)年11月竣工。

9 埋蔵文化財調査センター

5 国際先端科学技術研究拠点施設

4 先進マグネシウム国際研究センター

6 産業ナノマテリアル研究所

取材ご希望の方は、本紙(連絡票)をFAXいただくか、又は同内容をeメールで担当までご送信ください。短時間で恐縮ですが、10月20日(月)18時までにご連絡ください。

【連絡票】

熊本大学情報融合学環における
半導体企業と連携したエッジAIを使った演習科目の開講について

日 時：令和7年10月21日(火) 8時40分～11時55分(1, 2限目)
会 場：熊本大学黒髪南キャンパス D-Square3階 演習室

貴社名	
ご回答者	TEL E-mail FAX
10/21 当日の来学 予定時間	

※会場へのご来場時にお名刺をご提出ください。

※会場へのご来場時はマスク着用へのご協力をお願いします。

熊本大学自然科学系事務課情報融合学環教務担当宛

FAX 送付先：096-342-3509

Eメール送信先：szj-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp